

FEIYU XU

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Multi-award-winning Researcher and Pioneer for Artificial Intelligence
- Co-founder of Nyonic
- Former Global Head of Artificial Intelligence at SAP



Topics

- Artificial Intelligence
- Asia
- Future
- Technology

Feiyu Xu 博士は、数々の賞を受賞した人工知能の研究者であり、先駆者です。Nyonic の共同創設者で、2024 年 2 月まで最高イノベーション責任者を務めていました。以前は、SAP でシニア バイスプレジデント兼人工知能のグローバルヘッドを務め、SAP の AI 戦略とその総合的な実装を指揮していました。

徐飛宇は、1987年に国家試験を受けずに推薦入学し、上海の同済大学で技術翻訳を学びました。その後、1992年から1998年までザールラント大学で計算言語学を学び、優秀な成績で修士号を取得しました。博士論文のタイトルは「情報抽出」分野の「意味シードからのブートストラッピング関係抽出」です。2014年にビッグテキストデータ分析の博士号を取得しました。当初はドイツ人工知能研究センターDFKIの上級研究員であり、言語技術ラボのテキスト分析研究グループを率いていました。また、2007年に設立されたDFKIのスピンオフ企業であるYocoy Technologies GmbHの共同設立者兼マネージングディレクターでもありました。2017年3月から2020年3月まで、徐飛宇はレノボグループの副社長兼レノボリサーチのAIラボ責任者を務めました。2020年にSAPに移り、2023年には生成AI技術と大規模言語モデルを開発するNyonicの共同設立者となった。

徐飛宇氏は、ZF グループの監査役会メンバーであり、アジアとヨーロッパをつなぐ組織である Asia Berlin Forum eV の会長です。2013 年には、自然言語処理分野への貢献が認められ Google Focused Research Award を受賞しました。2014 年には DFKI の研究者にとって最高の荣誉である DFKI Research Fellow 賞を受賞しました。2019 年には、フォーブス誌の「中国のテクノロジー界の女性トップ 50」に選出されました。中国で開催された Global AI Application Product Expo 2019 では、中国の人工知能分野で年間最優秀 10 名の 1 人に選ばれました。徐飛宇氏は 100 本を超える研究論文を発表しており、その多くは ACL、COLING、EMNLP、CONLL、NAACL、LREC などの国際的に有名な AI カンファレンスで発表されています。彼女はまた EACL 2017 のテキストマイニング、情報抽出、質問応答システムのセクションヘッドであり ACL 2018 のテキストマイニングと質問応答システムのセクションヘッドでもありました。

Feiyu は、基礎研究、応用、開発から製品とその商業化まで、自身の分野のイノベーションサイクル全体にわたる広範かつ深い経験で感銘を与えています。